

- 村松幸昌委員長 皆さん、お疲れさまです。
ただいまから総務文教常任委員会を開会いたします。
本日は鈴木委員が欠席ということで連絡がありましたので、委員の皆様にご報告させていただきます。
それでは、議案の審査を行います。
本委員会に付託されました案件は全部で2件であります。
審査順序は、お手元に配付の審査順表のとおり、総務部、市立総合病院の順で審査したいと思います。これに御異議ございませんか。
（「異議なし」と呼ぶ者あり）
- 村松幸昌委員長 御異議なしと認めます。よって、お手元の審査順表のとおり審査することにいたします。
最初に、総務部所管の議案の審査を行います。
議第14号「令和5年度焼津市土地取得事業特別会計補正予算（第1号）案」を議題といたします。
それでは、議第14号に対する質疑に入ります。
質疑、意見のある委員は御発言をお願いいたします。
- 杉田源太郎副委員長 1款1項1目1節、財産貸付収入で、土地貸付収入増額は貸付先の変更に伴う土地貸付額の増によると、そういう説明があったと思うんですけど、この内容というのを教えてください。
- 鈴木和幸公有財産課長 貸付けが11件のものが14件に変更になったということで増額になってございます。
以上でございます。
- 杉田源太郎副委員長 説明を聞いたときに、音声で聞いたときに、貸付先の変更というふうにあったんですよ。変更というのは、増えたもので、増えたということと変更って一緒ですか。
- 鈴木和幸公有財産課長 変更、貸付先が増えたということで、そのような説明をさせていただきます。
- 杉田源太郎副委員長 じゃ、あくまでも増えたということだよ。変更じゃないよね。
- 鈴木和幸公有財産課長 はい。申し訳ございません。
- 杉田源太郎副委員長 了解です。
- 村松幸昌委員長 ほかにありますか。
- 杉田源太郎副委員長 3件増えた、そのところはどこですか。
- 鈴木和幸公有財産課長 これは、駅前の交番について、土地会計の歳入とするように変えているということと、個人の駐車場の台数が3台分増えているというようなところが内容でございます。
以上でございます。
- 村松幸昌委員長 ほかにありますか。いいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○村松幸昌委員長 それでは、ほかにはないようですので、質疑、意見を打ち切ります。
討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○村松幸昌委員長 討論を打ち切ります。

これより採決いたします。

議第14号は、これを原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○村松幸昌委員長 挙手総員であります。よって、議第14号は、これを原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で総務部所管の議案の審査は終わりました。

当局の皆さん、御苦労さまでした。

ここで当局の入替えがありますので、しばらくお待ちください。

それでは、皆さんおそろいですので、次に市立総合病院所管の議案の審査を行います。

議第20号「令和5年度焼津市病院事業会計補正予算(第2号)案」を議題といたします。

それでは、議第20号に対する質疑に入ります。

質疑、意見のある委員は御発言をお願いします。

○鈴木まゆみ委員 よろしくをお願いします。

第4条の棚卸資産購入限度額。

59ページになります。一番下の第4条の棚卸資産購入限度額を2億円上げるということですが、薬品が増額しているということなんですが、いつぐらいからこういった病気が増加傾向にあるのかということと、薬品というのは注射薬というふうに説明があったと思うんですが、注射薬自体値上がりがあったのかということをお聞きします。よろしくをお願いします。

○岡谷敏明用度施設課長 では、お答えいたします。

病気につきましては、これという病気がいつから急に増加したということではございませんで、診療技術、検査の進歩ですとか、診断基準の改定等によりまして、以前は見逃されていた症例が発見されることが多くなりまして、そういったことで数量が増えたということだと認識しております。

それから、もう一つにつきまして、すみません、質疑の内容を。

○村松幸昌委員長 それじゃ、一度、課長、座ってくれて。

鈴木委員、もう一度説明してあげてください。

○鈴木まゆみ委員 注射薬の値上がりがあったのかという問いです。

○岡谷敏明用度施設課長 すみませんでした。お答えいたします。

注射薬品の値上がりについてですけれども、物価の高騰による原材料費ですとか製造経費の上昇はあるんですけれども、医薬品の購入額が大きく増加している原因としましては、新薬の登場、それから抗がん剤の適用の拡大、それから、高額医薬品の使用量の増加というのが考えられる要因となっております。

以上です。

- 鈴木まゆみ委員 ありがとうございます。
- 村松幸昌委員長 ほかにありますか。
- 増井好典委員 62ページの貸借対照表のところで、一番下の欄、未収金の中の貸倒引当金がマイナスになっているんですけども、これの中身が分かりましたら教えていただければと思うんですが。ちょっと気になったものですから。
- 森下政安喜病院経営戦略課長 貸倒引当金が資産のところでマイナスになっているような表記になっておりますけれども、これは本来は負債のほうに、形になるんですけども、会計上、資産のほうでマイナス表記をするというふうな形になっておりますので、このような表記になっております。
- 増井好典委員 分かりました。
- 村松幸昌委員長 これは会計上の話ですね。
- 増井好典委員 会計上の話ですね。了解です。
- 村松幸昌委員長 ほかにありますか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 村松幸昌委員長 ほかにないようですので、質疑、意見を打ち切ります。
- 討論はありませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 村松幸昌委員長 討論を打ち切ります。
- これより採決いたします。
- 議第20号は、これを原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。
- （賛成者挙手）
- 村松幸昌委員長 挙手総員であります。よって、議第20号は、これを原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。
- 以上で市立総合病院所管の議案の審査は終わりました。
- 当局の皆様、御苦労さまでした。
- これで、総務文教常任委員会に付託されました議案の審査は全て終了いたしました。
- 以上をもちまして、総務文教常任委員会を閉会いたします。
- 皆様、御苦労さまでした。

閉会（10：32）